

1. 日 時 令和6年 6月12日（水）18：00～19：15
2. 場 所 鴻池小学校 視聴覚室
3. 参加者 協議会委員 : 阪田会長・寺井副会長・北田委員・堤委員・吉田委員  
小西委員・岡村委員・岡本委員  
教職員 : 栗生校長先生・安井教頭先生  
その他 : 荒西コーディネーター  
教育委員会より：西岡教育委員・坂本指導主事

4. 学校長あいさつ

今年度から鴻池小学校の学校長に就任いたしました、栗生桂治と申します。当校に赴任するまでは中学校に勤めていましたが、小学生は中学生とはまた違った可愛さがあり、校門前で楽しく朝の挨拶をさせていただいています。

子どもたちが、毎日楽しく通えるような学校を作っていきたいと考えています。「子どもたちのためには、どうすればよいか」という方向性で話している中で、教職員から後ろ向きな言葉が出ないことは、当校の強みであると感じています。

今後も地域の方々とも協力しながら、様々なことに取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

5. 内容

(1) 学校運営協議会について

- ・各委員の自己紹介。

今年度より地域コーディネーター1名、PTA役員2名が新委員に加わる。

(2) 今年度の学校運営方針について

(資料に基づき、校長先生より説明)

- ・令和6年度の鴻池小学校のグランドデザインを一つの図にまとめている(HPにも掲載)。前年度に引き続き、今年度の学校教育目標は「ひとみ輝き 笑顔あふれる 鴻池小学校」である。

「めざす子ども像」として、3点あげている。

- 自ら考える子
- 心豊かな子
- たくましい子

また、「めざす学校像」として、

～子どもたち一人一人が輝き、「夢」や「希望」がもてる学校～

- 子どもたちが自主的・主体的に活動し、活気に満ちた学校
- 家庭・地域から信頼される開かれた学校
- 教職員にとって、やりがいがあり、和を大切に協力し合える学校をあげている。

「重点プラン」として、3点を実施する。

○重点1 確かな学力の育成

- ・学力の向上は、当校の課題である。取り組みとしては、計算シート等で子どもたちの力を確認したり、授業改善をして様々な方法で授業のアプローチをする。

○重点2 豊かな人間性・社会性の育成

- ・当校の子どもたちは力はあるが、その力を十分に発揮できていないのではないか。子どもを認める、褒める、励ますなどして、自己有用感・自己肯定感をさらに育てていきたい。失敗を恐れずに様々なことにチャレンジしてほしいことを、子どもたちにも伝えている。

○重点3 たくましい心身の育成

- ・体力づくり、健康保持、安心と安全の確保を実施する。全国の体力調査では、当校は全国の平均値を上回っている。引き続き、子どもたちの体力づくりに力を入れていきたい。学校は、子どもたちが安心して過ごすことができる場でありたい。そのために、安全の確保には力を入れている。

- ・子どもたちの学校生活の様子を、学校のHPに掲載している。毎日更新しているので、保護者や地域の方々に是非ご覧いただきたい。

<主な質疑応答 ●：委員 ○：回答>

●学校生活で問題等があったときに、教職員同士でサポートをしたり、意見交換がしやすい雰囲気なのか。

○問題等があった場合は担任が一人で抱え込むことはなく、問題は学年で共有し対応ができていると感じる。

●不審者が侵入したり、災害時における教職員の対応の確認はされているか。

○日頃から確認している。対応マニュアルもあり、研修会という形で訓練を行っている。

●全ての教職員がAEDを使用できるのか。

○全員が使用できる。実践的な救急シミュレーションや、水難事故防止研修の際にAEDの使用方法、心肺蘇生の手順を教職員で確認した。

(3) 学校の様子について

(校長先生より説明)

- ・子どもたちは元気に外で遊び、落ち着いている学校だと感じる。先生のことを好きだと言う子どもが多い。

<主な質疑応答 ●：委員 ○：回答>

●不登校の子どもは現在いるのか。

○前年度に不登校だった子どものうち約半数が、現在は教室で過ごすことができている。

しかし新学期から約2か月が経過し、気疲れから不登校の子どもが増える可能性があるので、声かけをしながら今後も子どもたちの様子を見ていきたい。

●不登校の子どもたちへ、どのようなアプローチをしているのか。

○担任が中心となって電話や家庭訪問をしている。中には、タブレットを通して授業に参加する子どももいる。

●保健室登校は可能か。

○保健室登校は可能だが、会議室を希望する子どももいるので、その子にあわせて対応をしている。

- 加配の教職員は何名いるのか。
- 現在3名の方が順番に来てくださっているが、来ていただける時間が少ないと感じている。
- 不登校支援員は教員なのか。
- 不登校支援員は市に登録をしたのち、市から派遣されるという形で学校に配置される。

## 6. その他 「伊丹の教育がめざすもの」について

(資料に基づき、西岡教育委員より説明)

「重点施策」について。

- ①「主体性、問いを立てる力、コミュニケーション能力」の育成
  - ・現代の子どもたちは問題を解決する力だけではなく、自ら問題を見つける力を育む必要がある。
- ②「教育DXの推進」 DX・・・デジタルトランスフォーメーション
  - ・文部科学省により開発されたシステム「MEXCBT (メクビット)」は来年度以降、さらに使用の拡大が予定されている。
  - ・学校のみならず、保育施設における登降園の連絡等もDX化が進んでいる。

「令和6年度の新たな取組」について

- ①子育て家庭への経済的支援
  - ・中学生世帯への学校給食費の無償化
  - ・小学生世帯への食材費高騰による保護者負担の補助
  - ・保育所等における第2子の保育料の無償化
- ②学校体育館への空調設備の導入
  - ・2年間で全小中高等学校へ学校体育館の空調設備導入
  - ・鴻池小学校は令和7年度に導入予定

「不登校の児童生徒の対応」について

- ・フリースクールを含めて、一人一人に個別最適化の学びを提供していき、社会的自立を目指す。

「部活動の地域移行」について

- ・令和8年度に移行予定
- ・中学校区で保護者説明会を実施する予定である

## 7. 閉会あいさつ (阪田会長より)

私はPTA役員を務めていた頃から、学校の邪魔にならない存在でありたいと思っています。子どもたちが、さらに自己有用感を感じられるような活動をしていけたらと思います。今年度も1年間、よろしくお願いいたします。

以上